

新刊!

「戦争を止め、社会を変える」
11・3全国労働者集会大結集へ必読!

階級的労働運動

とは何か?

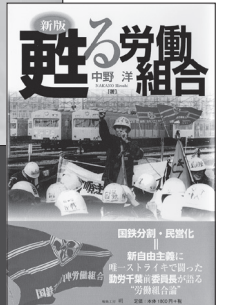
続・動労千葉が歩んできた道

田中康宏 [著]



中野洋・元動労千葉委員長の名著『新版 甦る労働組合』を読み解きながら、戦争が社会を呑み込もうとする歴史の岐路に立って、「戦争を止め、社会を変える」本来の階級的労働運動を再生させる道を探る!!

全国労働組合交流センター代表運営委員
田中康宏・動労千葉顧問が『月刊労働運動』の連載を大幅加筆し、一冊の本にした!



政治の腐敗は極まり、裏金集めと脱税にしか関心がないような政治家たちが、それを開き直って労働者を戦争に駆り立てようとしています。我慢の限界はもうとうに過ぎ、怒りの声は地に満ちています。世界では労働者や学生の大反乱が始まっています。ストライキの大波が世界を席巻し、学生たちは、何千人もの逮捕者を出しながら、「ガザ大虐殺をやめろ!

パレスチナに自由を!」と不屈の声を上げ続けています。日本でも、労働組合が力をとり戻す時がもうそこまで来ています。3労組と全国労働組合交流センターが営々と続けてきた階級的労働運動再生の努力、11月全国労働者総決起集会を今こそ力あるものに押し上げなければなりません。われわれは昨年来、われわれ自身の手で、反戦デモとストライキを甦らせて

いく新たな挑戦を開始しました。無数のデモ、数多くのストライキが各地で組織されています。今はまだ小さな火花に過ぎないかもしれませんが、でもわれわれはその努力が階級的労働運動の大きな炎となつて燃え上がることを信じています。

(「刊行にあたって」より)

(本書の内容)

発刊にあたって

- 1 死語とされた「階級的労働運動」
- 2 労働運動の原点とは?—歴史から学ぶ
- 3 歴史の岐路に立って

はじめに

- 第1章 なぜ今『甦る労働組合』か
- 第2章 時代認識と労働組合

第3章 時代認識と労働組合 (その2)

—労働者、労働組合をめぐる攻防史として歴史をみる—

第4章 時代認識と労働組合 (その3)

—階級的労働運動の本質論と団結の組織化—

第5章 `労働組合権力、の形成—中野さんの職場闘争論

第6章 反合・運転保安闘争路線の確立

第7章 労働組合の本質的課題としての反戦闘争

第8章 労働者・民衆の歴史的立ち上がり、問われている課題

(キリトリ)

注文書	階級的労働運動とは何か? 続・動労千葉が歩んできた道 田中康宏[著] 頒価 800円	
	氏名・団体名	送付先
		電話
(取り扱い) 全国労働組合交流センター 〒111-0041 東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂ビル 5F TEL 03-3845-7461 Fax 03-3845-7463		

冊